

しょうによししょうにんきゆうせき
證如上人旧跡

ごくらくじ
極楽寺

【碑文】


(正面) 證如上人御旧跡

(左側面) 天文二巳八月九日 当村

二十一人討死御書御法事

毎年三月八日九日

(右側面) 東御坊極楽寺

(裏面) 施主  明和六己丑十月米屋妙閑建之



(所在地) 玉川四丁目三

極楽寺は證如上人を守って討死した二十一人の墓所に建立された道場が始まりとされる。本願寺東西分裂の時、野田衆は東本願寺(真宗大谷派)に属し、延宝四年(一六七四)極楽寺となった。野田御坊のだごぼうとも呼ばれる。

毎年二十一人の法要が営まれている。近くの圓滿寺とともに證如上人ゆかりの寺として知られる。

(碑文)

二十一人討死墓



寺内にある「二十一人討死墓」